

学校教育目標	自分が好き 友だちが好き 学校が好き まちが好き				
	○自分から進んで問題を見つけ、考え、判断して取り組み、自分の見方や考え方を深めていく子どもを育てます。(知) ○互いに認め合い、支え合いながら、安心して個性を發揮し、伸ばし高め合える子どもを育てます。(徳) ○自分の健康に関心をもち、進んで健康保持に努めるとともに、自らの体力を向上させようと取り組む子どもを育てます。(体) ○自分が生活する「まち」について理解を深め、関心を高めながら積極的に「まち」と繋がっていく子どもを育てます。(公) ○多様な文化や伝統に積極的にに関わり、それぞれのよさを受け容れ、視野を広げ、進んで行動・実践していく子どもを育てます。(関)				
学校概要	創立 147 周年	学校長 大島 宏二	副校長 佐藤 朗子	2 学期制	一般学級: 32 個別支援学級: 6
	児童生徒数: 1076 人	主な関係校: 浦島丘中学校 錦台中学校 神奈川中学校			

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	浦島丘中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
	浦島丘中学校 浦島小学校 神奈川小学校	人とのつながりを大切にし、ねばり強く社会を生きぬく子 本ブロックでは、「育成を目指す資質・能力」を「人と人とのつながりを豊かにする社会性」、「課題解決能力」、「創造力と発信力」と設定。具現化の取組として… ・5月: 中学校の授業を3小学校が参観、授業後に協議会を実施。・9月: 3小学校で教科を分担して授業公開。ブロック内の小中学校職員が参観、授業後に協議会を実施。・10月: 児童生徒交流日に6年生が中学校を訪問、授業や部活動を体験。
学び続ける力 健やかな心と身体 新しい時代を生き抜く対応力		

中期取組目標	学校教育目標を実現するために、「活力と魅力にあふれた子安小学校づくり」を目指します。 ○職員の同僚性・協働性を高め、職員の協力支援体制・活気にあふれた学校運営組織を確立します。 ○子ども一人ひとりが、安心して気持ちよく生活・学習できる環境をつくり、楽しい学校生活を営めるようにします。 ○子ども一人ひとりが、学習の楽しさや喜びを実感できる授業づくりを推進し、子どもの学力向上を目指します。 ○家庭・地域・小中一貫教育推進ブロックと連携・協働し、社会の要請や信頼に応えた学校づくりを推進します。

重点取組分野	具体的取組
確かな学力 担当 重点研究・あゆみ評価委員会	①全教員が授業研究を通じて授業づくりに努め、子どもの主体的な学習を実現させるとともに、主として国語の授業を中心に子どもの書く力の系統性を重視してその力を高めていくようにする。②生活科や「横浜の時間」を中心に地域や社会と関わり合う時間を設定して、問題解決的な学習を行いながら子どもの表現力を高めていくようにする。
豊かな心 担当 道徳部 人権・環境・福祉	①道徳の時間や各教科の授業において、物事の善悪や自他を思いやる心を育てるようにする。②年間を通じて全学級が1回以上道徳の授業参観を行う。③人権月間に限らず、思いやりの心やたくましく生きることの大切さを学ぶ機会を各学年で設けていく。④「挨拶運動」を全校で実施し、進んで挨拶をする態度を育て、いじめの起きにくい風土をつくる。
健やかな体 担当 健康教育委員会	①「長縄集会」や「縄跳び運動」など年間を通じて実践する取組を通じて体を動かすことの楽しさや能力を高めることの喜びを学ぶ機会を設定する。②「長縄中休み」を設定して、全校が一同に長縄に親しむ機会を継続的に実践する。③学校保健委員会を年2回開催し、自分の体の健康について学び、めあてに向かって努力することの大切さを学ぶようにする。
地域との協働 担当 教務部・総合部・校舎移転対策委員会	①校舎移転が完了し、新しい場所での登下校の安全面においては地域や保護者の協力がより必要になるため、情報の発信、共有に努めて共に歩む学校を目指していく。②学校教育説明会・報告会、学校づくり懇話会などの機会を通して、学校経営方針を地域や保護者に分かりやすく説明・報告する。
キャリア教育 担当 教務部・総合部	①地域にある工場や企業、人材を活用して、見学や体験など地域と連携した授業づくりを行う。②学校行事や学年行事などを通して、自己を見つめ将来の夢や希望をもつ機会を設定する。③地域の大人やプロフェッショナルなど、優れた人材と触れ合う機会を設け、プログラミング教育の実施のほか、新学習指導要領を見越した取組を実践していく。
情操教育 担当 人権・道徳教育推進・音楽部・図書部	①年間を通じて、音楽に親しめるよう「音楽朝会」を月1回実施して継続的に合唱する機会を設ける。②「ウインターコンサート」を通じて仲間と共に合唱を行うことの楽しさ、協力して合奏することの喜びを感じられるようにする。③子どもが読書習慣を身に付けられるように、週3回の朝学習のうち1日を全校読書日と定めるほか、読書習慣が身に付けられるように働きかけを行っていく。
いじめへの対応 担当 児童指導部	①児童支援専任を中心とした組織的な指導・支援体制を整え、教職員が連携していじめ等問題行動の早期発見と対応を行う。②発達段階に応じていじめの未然防止のための取組を実践し、起きた時には早期対応するよう職員、関係機関と連携をする。③相談窓口の明示、定期的なアンケート、個別の面談を実施して状況の把握に努める。
人材育成・組織運営(働き方改革) 担当 教務部	①校内研修の計画的な実施によって、子どもの学習や生活に対する指導力や危機管理対応能力など、今学校に求められる教職員の資質・能力の育成に努める。②校内初任者研修及びメンターチーム研修の充実、経験者層のメンターチームへの適切な参画によって、若手教職員が指導力・実践力を高められるようにする。